

2009年度

科目名	英語学演習2		
担当教員	田畑 智司		
配当	英語3	コード	14310
開期	後期	講時	月曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	英語のスタイルを解き明かす(応用編)		
目的と概要	<p>聞、広告、小説、ビジネス文書、公文書、Eメール、ブログ、大統領就任演説、ホワイトハウスの記者会見、製品発表キーノートスピーチ、などなど様々なジャンルの英語を分析対象に、言語学と情報科学の知見を応用して、いかなる英語のスタイルが選択・使用されているか、また、その理由や、効果はどのようなものかを感じ取る鑑賞眼を養う。</p>		
成績評価法	<p>輪番制で行う授業時のプレゼンテーションおよび学期末試験の成績により評価する。その他、随時レポートを課し、その内容も考慮する。</p>		
テキスト	斎藤 兆史『英語の作法—The Art of English—』(東京大学出版会)		
参考書	<p>筧 寿雄(監訳)、石川 慎一郎(訳)、広野 由美子(訳)、瀬良 晴子(訳)『小説の文体—英米小説への言語学的アプローチ』(研究社)</p>		
履修に当たっての注意・助言	<p>輪番制の発表は2~3人のグループ単位で行っていただくので、あらかじめ誰とグループを組むか考えておいてもらいたい。なお、欠席が5階以上ある場合は単位認定しないので、無駄な欠席をしないよう努めてもらいたい。</p>		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1.スタイルとアイデンティティ 2.著者推定論1 3.著者推定論2 4.スタイルと言語使用域1 5.スタイルと言語使用域2 6.新聞のスタイル 7.学術文書のスタイル 8.サイバースペースのスタイル(eメール、ブログ、etc.) 9.説得術としてのスタイル1(演説) 10.説得術としてのスタイル2(製品発表会) 11.批評的(批判的)談話分析1 12.批評的(批判的)談話分析2 13.小説のスタイル 14.創造的言語使用を鑑賞する 15.総括 			